



# 京都支部 だより

パナソニック松愛会  
京都支部  
2017年12月  
第32号  
発行人 永田 一良  
編集人 富上 博美

京都支部ホームページ

<http://www.shoai.ne.jp/kyoto>

## 「京都支部結成30周年記念総会」 を終えて

支部長 永田 一良

そろそろ年末を迎えるということで、一年を振り返る時期になりました。本年も会員の皆様から格段のご支援を受け、大過なく今日を迎えることができましたことに心より感謝を申し上げます。

さて、今年を振り返って一番の喜び事は「京都支部結成30周年記念総会」の開催を無事終えたことです。昨年の今ごろは「支部30周年記念誌」の原稿づくりに取り組んでいる真っ最中で、一日中パソコンと向き合う日々が続いておりました。

記念誌が完成し、記念総会には前年をはるかに上回る多くの皆様にご出席いただくことができました。

また、第2部では記念講演として、元支部長の波多野元三郎さんに京都支部の歴史の中から懐かしいお話をいただくことができました。

次の第3部でも京都支部に関係の深い皆様からお祝いのメッセージが届き、また各テーブルでは思い出話で賑わっていただく等、会場は記念モード一色の雰囲気で大いに盛り上がりました。

そのような中で「記念総会」を終えることができましたことに最初は安堵しつつも、その後、月日がたつにつれて喜びと達成感が芽生えてまいり、本当にありがとうございました。

当日はそれぞれのご予定やご体調によりご出席いただけなかった会員の皆様もおられたと思いますが、支部の全ての会員様に6月の松愛会会報で「記念誌」をお届けしましたので、支部30周年をご周知いただけたことと存じます。

これからの未来に向けても皆様との絆をより深めてまいりたいと思いますので、今後とも変わらぬご指導とご鞭撻をよろしくお願いいたします。

最後に、来るべき新しい年が会員の皆様にとって佳き年となりますよう、心からご祈念を申し上げて年末のご挨拶とさせていただきます。

### ▼入会促進についてのお知らせ

2017年10月より、満50歳以上の方でパナソニック株式会社に10年以上勤務され（定時社員含む）松愛会会員の推薦がある方は、松愛会へ入会できるようになりました。ぜひお声をいただき、ご紹介をよろしくお願いいたします。

2018年1月15日（月）

新春懇親会開催

京都タワーホテル（9階、八閣の間）

## 京の伝統美を描き続けて



第31回「国創展」会場にて 画：石川善一さん（左京区）

## 思いつくまま

ギフチョウをご存じでしょうか？ 年1回、早春に姿を現す蝶で「春の女神」と言われています。

昔は京都市内のあちこちに生息していましたが、開発やシカの食害などで食草がなくなり、京都市内ではほとんど姿が見られなくなりました。現在は洛西の小塩山山頂付近で、10年ぐらい前から「乙訓の自然を守る会」がシカの食害から食草のミヤコアオイやカタクリの保護活動を行うようになって、毎年その姿が見られるようになりました。

興味ある方は、4月の初旬ごろに小塩山へ登られたら出会えるかと思えます。現在は山頂まで車では登れませんので、徒歩で大原野神社から花の寺を経て約2時間ぐらいで登れます。ギフチョウはスミレやカタクリの花が好きでそれらの花の前で待っていると飛んできます。（松本 史朗）



ギフチョウの写真

撮影：松本数朗